

●発行日：2016年8月20日（土）

〒661-0035 兵庫県尼崎市武庫之荘3-19-3 TEL 06-4962-5876 FAX 06-4962-5877 e-mail info@gakurin.co.jp

発行:教材出版 学林舎



学習教材の行き先

デジタル教科書の普及状況

デジタル化が進むなか、近年、学校で使う教科書をタブレット端末などに収めた「デジタル教科書」が補助教材として制作され、学校等において普及しつつあります。デジタル教科書には、これまでの紙の教科書とはちがい、多様で大量の情報を収集し、整理や分析ができることや、音声や画像、データ等を蓄積して、送受信できることなどのメリットがあります。

デジタル教科書には、大きく分けて2つのタイプがあります。1つは、指導者用のデジタル教科書で、現在、学校で普及が進んでいるタイプのものです。このタイプのデジタル教科書は、おもに教師が使用するもので、授業をわかりやすくサポートするための提示型教材となっています。これまでの紙の教科書の文字や写真だけでなく、動画や音声を利用することができます。例えば、算数や数学の授業においては、立体図形の展開図をアニメーションで見せたり、理科の授業においては、実験の様子を映像で確認させたりすることができます。また、英語の授業においては、ネイティブスピーカーの発音を音声で聞くこともできます。

もう1つは、学習者用のデジタル教科書で、学習者1人に対して1台の端末を使用するネットワーク型の教材になります。このタイプのものは、一斉学習に加え、個別学習にも対応できます。学習者用のデジタル教科書は、平成27年度に小学校用が発行され、先進校等で実証的な活用が始まったばかりです。そのため、教室のインターネット等の環境の整備や、授業の研究が不十分で、まだ十分に現場で普及しているとはいえません。

これらのデジタル教材は、現在は正式な教科書ではなく副教材として扱われています。教科書には、「授業で必ず使う義務がある」「無償で配布される」「文部

科学省の教科書検定に合格している必要がある」といった規定があるため、これらの規定を満たしていないデジタル教科書は、正式な教科書とは認められていません。つまり、現在の法律では、デジタル教科書だけを使って授業を行うことはできないということになります。

しかし、文部科学省は先日、4年後の2020年度から、全国の小中学校と高校で正式な教科書としてデジタル教科書を導入する方針を示しました。そして、2017年度にも法律を改正して正式な教科書として位置づけることにしています。だからといって、2020年度からは、紙の教科書がなくなり、すべてデジタル教科書になるということではありません。しばらくは、紙の教科書は紙の教科書で残り、一方で、デジタル教科書も教科書として認めることで、デジタル教科書だけを使う授業も認められるようになるということです。

デジタル教科書が正式な教科書と認められることで、今後は学校現場でもデジタル化が進んでいくことが考えられますが、デジタル教科書を使用することでいろいろな問題も出てきます。

その問題の1つは、著作権などの権利の問題です。動画などを取り込むには、膨大な量の権利の処理を行う必要があります。なかには、自分の作品を電子書籍化することを認めないという作家もいます。

また、紙の教科書とはちがひ、デジタル教科書は無償化しない方針となっています。デジタル教科書は、端末がないと読むことができないので、家庭や自治体で端末の費用を負担することになります。東京都荒川区のように、独自予算ですべての小中学生向けにタブレット端末を導入している自治体もありますが、全国的にみると、まだまだ整備されているとはいえません。

この他にも、「書く力や考える力が低下するのではないか」、「タブレットなどの端末を日常的に使うことで視力の低下や睡眠障害といった健康面への影響が大きいのではないか」等の声もあります。

デジタル教科書を普及させるためには、これらの問題を解決していくことが必要となります。

(文／学林舎編集部)

学習教育の行き先 小学生のうちに 読んでおきたい本

読

書は国語の読解力の強化だけではなく、子どもたちの想像力や思考力を高めるのに役立ちます。また、小学生時代に読書の習慣をつけることができれば、中学生、高校生、そして大人になっても、様々な本に触れ視野が広がるものです。そこで、今回はおすすめの本をいくつか紹介します。

○小学校低学年～中学年向け

■『オタマジャクシのうんどうかい』

阿部夏丸（作） 村上康成（絵） 講談社

赤ちゃんのときにザリガニにしっぽを切られたオタマジャクシのタマは、かけっこでみんなのスピードについていくことができません。平等に競走できる方法を考えますが…。

■『おばあさんのひこうき』

佐藤さとる（作） 村上勉（絵） 小峰書店

いなかの町外れに暮らすおばあさんはどんなものでも楽々編める編み物の名人です。ある日黒いちょうちんの美しい模様をまねて毛糸で編んでみたところ、それはふわふわと浮き上がり、とうとう飛行機になったのです。

■『トマトの ひみつ』

山口進（作・写真） 福音館書店

トマトの独特なおいには、虫に食べられないように自分の体を守る不思議な力があります。トマト畑に巣を張ったクモと昆虫たちの命のドラマを写真で展開しながら、トマトの秘密を解き明かします。

○小学校中学年～高学年向け

■『甘党仙人』

濱野京子（作） ジュン・オソン（絵） 理論社

陸の友だちの翔は、日本生まれですが両親は中国人。翔のところへ中国からおじいさんが訪ねてきたので、陸も一緒にごちそうを食べました。中国のお話の絵本

の表紙に、おじいさんにそっくりな仙人が描かれているのを見つけた陸は、おじいさんは仙人なのではないかと考え始めて…。

■『小学五年生』

重松清（作） 文藝春秋

クラスメイトの突然の転校、近しい人との死別、見知らぬ大人や、転校先での出会いなど、小学五年生の少年たちを主人公にした珠玉の短編集。

■『イチロー 果てしなき夢』

義田貴士（作） 学研

少年時代からメジャーリーグでの大記録達成までをたどったノンフィクションです。イチローの知られざる努力、生き方や考え方を取材し、夢を達成した原動力を探ります。

これらは、必ず読まないといけないというものではありません。まずは、書店や図書館に行って、子どもたちが読んでみたいと思った本からきっかけを作ってはどうでしょう。物語だけでなく、低学年では写真絵本や図鑑、高学年では科学の読み物や伝記など、ジャンルを広げて読書を楽しめるとよいですね。長く読まれている名作、流行作家の作品と、新旧問わず読んでおきたい本はたくさんあります。また、上記で紹介した阿部夏丸や重松清の作品は中学入試にも頻出で、他に伊集院静、あさのあつこ、森絵都などの作品からよく出題されています。説明的文章では、岩波ジュニア新書をはじめ、大人向きの新書などから出題されています。なかでも、池内了、稲垣栄洋、榎本博明、鷺田清一などの作品は頻出です。

詩や随筆、海外の作品に魅せられる子どももいるでしょう。インターネットでも読書案内をしているサイトがありますし、『小学生のための読解力をつける魔法の本棚』中島克治（小学館）という読書術と読書案内が書かれた本もありますので、子どもたちへすすめる指針としていただければと思います。

（文／学林舎編集部）

教育の行き先

人口減少にともなう
教育の変化

平

成 28 年 7 月に総務省が発表したデータによると、日本の総人口は 1 億 2699 万人で、0 ～ 14 歳人口は総人口の 12.6%、15 ～ 64 歳人口は 60.4%、65 歳以上の人口は 26.9% を占めています。義務教育を受ける 15 歳以下の人口は、団塊の世代をふくむ 65 歳以上の人口の半分以下となっており、少子高齢社会がこのまま続けば、今後さらに 15 歳以下の人口が減少すると予想されます。

ここでは、小・中学校と塾における人口減少にともなう教育の変化について、それぞれ分析・総括します。

□小・中学校

団塊の世代が小・中学生であったころに建てられた小・中学校は、人口減少の影響を受け、現在ではすでにその多くが統廃合されています。また、国が標準としている、1 クラス 40 人を下回る児童数・生徒数で 1 学級を編成する少人数学級が、全国で実施されています。これは、児童数・生徒数が少なくなっているからこそ、少人数学級にし、先生が一人一人をきめ細かく指導することが目的です。

しかし、少人数学級を実施する小規模学校では教育上の課題もいくつかあります。例えば、クラス替えができずに人間関係や相互の評価が固定化されたり、多様な意見に触れることやバランスのとれた教職員配置、グループ学習がそれぞれ困難になり、学校行事、部活動に制約が生じたりします。また、教員一人当たりの業務が多くなり、若い教師への指導技術の伝達が困難になることが大きな課題であり、これを解決することが求められています。さらには、近年のグローバル化によって、これからの教育では、広い視野をもち、諸外国の人々と十分なコミュニケーションをとることができる人材を育てることが重要です。そのためには、一方的に教えられる「受け身」の教育 から「課題解

決型」・「生徒と教員の双方向授業」へ転換することや、教員の質の向上と数の充実が必要だと考えられます。

□学習塾

文部科学省によると、2006 年を除いて、1998 年以降の学習塾の市場規模はほぼ 1 兆 3,000 億円台で推移しており、市場が停滞傾向にあると考えられます。塾業界は二極化し、業界全体の 2 割の塾は業績が好調で、残りの 8 割は経営に苦しんでいる状態です。

ゆとり教育実施をきっかけに、保護者のなかには「公立小・中学校」に不信感をもつ人が増え、私学ブームがおきました。また、少子化によって子ども一人にかかる教育費が高くなりました。この 2 つの動きに柔軟に対応した塾が、人口が減少した現在でも業績を上げています。それ以外の塾は淘汰・再編され、大手に買収されてきました。

このような厳しい状況のなか、最近では他の塾との差別化をはかろうと、未就学のうちから生徒を囲い込み、大学受験まで一貫したサービスを提供したり、社会人向けの講座を開設したりして、ターゲット層を増やす戦略を展開しています。また、学習塾のなかには自治体と提携し、教育ノウハウを伝授する教員向け研修を実施したり、教育プログラムを提供したりする動きが見られます。今後は、このような自治体や学校と連携して行う教育サービスが、よりいっそう活発化するのではないかと考えられます。

(文／学林舎編集部)

クロスロード crossroad

第 60 回 | 文／吉田 良治

スポーツマンシップ

このコラムが公開される頃、リオオリンピックも残り3日となっています。日本選手は期待通りの活躍で、金メダルを含めたくさんのメダルを獲得しています。そして4年後にはいよいよ東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。招致活動から開催決定まではとてもいい盛り上がりがありましたが、昨年の新国立競技場建設問題やエンブレム問題、そして招致での裏金問題など様々な問題が噴出、スポーツ界でも選手の賭博や薬物問題などの不祥事、そして未だ根深く続く体罰問題等、東京五輪・パラリンピックに向け課題が山積です。

ブラジルでもリオオリンピックで様々な問題を抱えています。そんな中でスポーツの原点は何か？を再認識させてくれる出来事に巡り合えます。女子5,000m予選に出場したアメリカのアビー・ダゴスティノ選手とニュージーランドのニッキー・ハンプリン選手が接触で転倒した後、お互いを助け合いながらゴールしました。

以前トリノオリンピックのノルディックスキー競技で、カナダの選手がストックを折り、2位にいた順位が4位まで後退しました。そのときストックを折ったカナダの選手に、ノルウェーのコーチが予備のストックを貸し、銀メダルを獲得したことがありました。カナダの選手がストックを折った後、ノルウェーの選手が2位に上がっていました。最終的にカナダの選手に抜かれ、ノルウェーは4位となりました。もしノルウェーのコーチがストックを貸さなかったら、カナダの選手がメダルを獲得することではなく、ノルウェーがメダルを獲得していたかもしれません。しかし、このコーチの行為に対し、ノルウェー国民から批判はありませんでした。

今回リオオリンピック体操競技男子個人総合では、日本の内村航平選手が最終種目の鉄棒で大逆転金メダルを

獲得しました。記者会見で“審判の採点が内村選手最良では？”という意味合いの質問に対し、銀メダルとなったウクライナのオレグ・ベルニャエフ選手が『無駄な質問！』と、内村選手の勝利を称えました。日本でもこの報道は大々的に取り上げられました。

私もワシントン大学でアメリカンフットボールのアシスタントコーチをしていたころ、チームのマニュアルには、“勝ち負けに関係なく、記者会見でまず相手への敬意を伝えること”とありました。特に負けた時にどう立ち振る舞うかとても重要です。日本では負けた際、負けた原因として、自分のできなかったことを強調する傾向にあります。しかし、勝った相手が自分を上回ったことに、あまり触れません。相手が強いから勝った！という現実を受け止め、相手への敬意を伝えることが重要です。

スポーツマンシップの原理原則は相手に対する敬意を持つことです。スポーツの世界ではどうしても勝つことにフォーカスしがちですが、その前に大前提となることがスポーツマンシップになります。お互い勝つために全力を尽くすこと、そして勝利を目指すことは、どのようなスポーツでも当たり前のことです。体罰問題が大きくなった2012年末から2013年ごろ、体罰は勝利至上主義だから起こること、という意見がありました。スポーツで勝利を目指すことも、これまた当然あるべき姿の一つです。双方がともに競い合い、最高のプレーをすることが前提となり、そこで必要なことがスポーツマンシップにある、相手に対する敬意持ってプレーする、ということです。

2020年東京五輪・パラリンピックでは、日本が世界に素晴らしいスポーツ文化を発信する機会です。メダルの色や数も大事ですが、その前提として日本のスポーツ文化として、スポーツマンシップがしっかり根付いた風土を確立することが求められます。(つづく)

吉田良治さんプロフィール

1962年生まれ。1998年にワシントン大学へアメリカンフットボールコーチ留学。2000年リーグ制覇、2001年ローズボウルに出場し、ローズボウル制覇に貢献。国家レベルのリーダーシップ教育に貢献した、ランブライト元ワシントン大学ヘッドコーチよりリーダーシップ教育を学ぶ。

全米の大学で人格形成プログラム普及に貢献した、ライス元ジョージア工科大学体育局長よりライフスキル教育を学ぶ。

吉田良治さんBlog
<http://ameblo.jp/outside-the-box/>